

【日 時】 平成 26 年 3 月 26 日

【訪問先】 能見台小学校 堀川憲雄校長先生

【概 要】 児童数 548 名 19 学級 各学年 3 学級(3 年生のみ 2 学級)
特別支援学級 2 組 職員数 25 名

【視察報告】

1、校長先生のモットー

『たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心を温める。』声のかけ方次第で言葉の印象は全く異なる。子供たちはとても敏感なので、先生は言葉の持つ影響力をしっかりと理解したうえで教育に臨むべき。



2、英語・国際教育の取り組み

外国籍の子供たちは学校生活の中で日本語を話せるようになる。保護者が日本語をあまり話せない場合は、手紙をすべてひらがな表記にするなどの対応をしている。

3、地域のボランティアの協力

教育支援隊の方々週に 1～2 回、1・2 年生の授業支援を行っている。町内会に協力してもらい、子供たちの安全な登下校のため、スクールゾーンにグリーンベルトを設置。町内会の祭りでは、毎年和太鼓クラブが日頃の練習の成果を発表している。また PTA 活動が充実しており、文部科学大臣賞を受賞している。

4、地域との防災の取り組み

初任の先生は必ず地域防災訓練に参加。子供たちは各町内会を通して参加している。

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

道徳の授業に保護者が参加できる機会を設けている。

6、体力強化や部活動の取り組み

体力向上推進校に指定されている。遊びの中での体力向上を目標に掲げ、0 と 5 のつく日は外遊びデーとして、休み時間は外で遊ぶよう促している。その他、高学年の希望者を対象にした朝クラブでは、バスケットボールや陸上、サッカーなどを実施している。



7、学校組織の強化・人材育成

若手の先生にベテランの先生の教育技術を伝える機会を増やすために、先生間で積極的にコミュニケーションをとるようにしている。またいじめはどうか解決するのではなく、どうか防ぐのが大切であり、先生が子供たちとしっかり向き合う時間を十分に確保できるようにすることが課題。

8、その他

食育実践推進校に指定されている。6 年生が年に 1 回バイキング給食を実施しており、事前に学習した内容をもとに、栄養バランスがとれた品を選択する。

【所感】

体力向上推進校や食育実践推進校に指定されており、学校全体で様々なことに挑戦している様子がうかがえた。PTA 活動や地域との交流もさかんな他、いじめ防止の基本方針も明確で、子供たちが安心して生活できるきめの細かい教育がなされていると感じた。